

博士前期課程（修士） / 共通科目 / 共通科目

科目コード：200003

# データ分析方法論 Data Analysis for Nursing Research

担当教員	大木 秀一 西村 真実子 松原 勇 長谷川 昇				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	量的研究、質的研究				
学習目的・目標	学習目的：看護研究を行なう上でのデータ処理の考え方や手法について教授する。学習目標：1. 量的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。2. 質的研究の一つの方法論である「グラウンデッド・セオリー・アプローチ」の分析の考え方と手法が理解できる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1～3	主として量的研究に対する基本的な考え方と統計処理の初歩 (文献レビューの方法、既存データの活用法、量的な研究の考え方、1変数・2変数の記述統計、誤差とバイアスについて参考書に沿って講義する)			講義・演習	大木
4～6	SPSSによる統計解析1：t検定、カイ2乗検定 SPSSによる統計解析2：回帰分析、統計解析の応用			講義・演習	松原
7～8	さまざまな量的研究デザイン			講義	長谷川
9～10	質的研究の方法論に関して オープン・コーディングⅠ 1. データの切片化 2. コーディング（プロパティとディメンションの抽出）			講義・演習・討論	西村
11～12	オープン・コーディングⅡ：カテゴリー化 アキシアル・コーディング			プレゼン・討論・ 講義・演習	西村
13～14	理論的サンプリング セレクトティブ・コーディングとストーリーラインの記述			プレゼン・討論・ 講義・演習	西村
15	質的研究の論文の書き方（カテゴリー、プロパティ、ディメンションを使って研究結果を叙述するなど） 質的研究における信頼性・妥当性			講義・討論	西村
教科書					
参考図書等	1 大木秀一：量的な看護研究のきほん、医歯薬出版、2011 2 大木秀一：文献レビューのきほん、医歯薬出版、2013 3 戈木クレイグヒル滋子：グラウンデッド・セオリー・アプローチ 理論を生みだすまで、新曜社、2006 4 戈木クレイグヒル滋子編：質的研究方法論ゼミナール-グラウンデッドセオリーアプローチを学ぶ、医学書院、2005				
評価指標	授業への参加状況とプレゼンテーション（およびその資料）（100％）各教員の講義回数に応じて配点する。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	統計解析ソフトのSPSSを実際に使います（松原）				